

〈朝日新聞社出版局の本〉

報道写真全記録 阪神大震災 1995

朝日新聞社編

震度7。阪神地方を襲った地震は、戦後最大の大惨事となった。この大震災のすべてを、『朝日新聞』社の全取材網を総動員して記録したオールカラーの決定版。記者とカメラマンの総力を結集した現場報告。

完全版20世紀 再構築への苦闘 第9巻 1991（平成3）年～2000（平成12）年

朝日新聞社編

ソ連が崩壊、唯一の超大国となった米国が世界を仕切る。日本ではバブル崩壊後、苛烈なリストラ時代に突入。折から阪神大震災、オウム真理教の地下鉄サリン事件が起きる。定まらぬ政局、凶悪な少年犯罪……混迷のなか21世紀を迎えた。

震災の朝から始まった

稲垣 えみ子著

阪神大震災は多くの人々の生活や人生を大きく変えた。4年過ぎた今も被災の状況の中で生き続ける12人の人々に朝日新聞大阪社会部の女性記者が聞く。生きるとはなにか。読む者に、涙とともに生きる勇気を与えてくれる胸打たれる物語。

都市崩壊の科学 追跡・阪神大震災

朝日新聞大阪科学部編

現代の都市生活に想像を超える被害を与えた阪神大震災。科学部記者ならではの視点から、大震災について報告する。

災害に出合うとき

広瀬 弘忠著

地震・噴火・津波等の自然災害から事故やテロ事件まで、安全神話の崩壊した日本社会はさまざまな災害にさらされている。その犠牲者の悲嘆や苦痛を理解し、物心ともに災害に

強い社会を築くには？災害心理学の第一人者が鋭く分析。

大震災これなら生き残れる 家族と自分を守る防災マニュアル

山村 武彦著

あなたの防災知識、間違ってますか？「机に隠れろ」「まず火を消せ」「すぐ避難所へ急げ」……これはみんなウソです！防災アドバイザーの第一人者が、100回以上の被災地取材、最新の地震情報を元に明かす50の生き残り術。

大震災サバイバル・マニュアル

朝日新聞社編

大震災にみまわれた時、大切なこと、必要なものは何か。実際の体験にもとづく99のポイントを解説する必携書。

日本地震列島

尾池 和夫著

巨大地震のエネルギーは、今も着々と蓄積され続けている。研究の最前線から地震発生のメカニズムと予知を語る。

アエラムック 地震がわかる。

アエラ編集部編

日本中安全な所などどこにもない！巨大地震はいつか必ず起こる。ひょっとしたら明日にでも……。地震に対する科学的で正しい知識を持ち、しっかりと地震と向き合い、防災対策を考えるため企画した、一家に1冊常備したい安全の本。

動物は地震を予知する

H・トリブッチ著／渡辺 正訳

動物たちが地震前に見せるさまざまな異常行動……地震学者は懐疑的なこの“予知能力”に、故郷を地震に破壊された一科学者が挑んだ。古今東西の記録から動物たちのこの不思議な反応を実証し、初めて科学的な仮説を提起する。